

(様式1)

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のや等）から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入して下さい。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を实践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム オリーブの木						
(ユニット名)							
所在地 (県・市町村名)	奈良県大和郡山市						
記入者名 (管理者)	尾崎 三紀子						
記入日	平成	20	年	2	月	24	日

自己評価票

項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念として「のんびり、ゆったり、仲良く、楽しく」を掲げてケア会議等で職員に周知徹底している。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホーム内に掲示し実践に向けて取り組んでいる。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	年に4回、ホーム便りを発行し御家族、地域住民の方々にも読んでいただいている。御家族には毎月、月次報告書を郵送し利用者さんの状況を把握、理解していただいている。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣への散歩、商店への買い物などを通じて気軽なつきあいが出来るように努めている。近隣の住民の方にも訪問しやすい雰囲気づくりを心がけている。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会活動に参加し、ホームでの夏祭り、クリスマス会には近隣の住民の方も多数参加していただいで交流に努めている。	

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域住民向けの認知症についての説明会を開催している。</p>		
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>会議等を通じて共通認識のもとに、自己評価、外部評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
<p>8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議のメンバーからいただいた意見、要望を考慮してサービス向上に努めている。</p>		
<p>9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>特に生活保護の利用者さんについては市町村担当者と連絡を取り合い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見制度についての勉強会を開き、実際に一人の利用者さんは成年後見制度を利用されている。</p>		
<p>11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ホーム内で虐待が行われないよう相互チェックし細心の注意を払って防止に努めている。</p>		

項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面で十分な説明を行い理解、同意をいただいている。		
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御意見箱や面談によって苦情や不満を聞き取り、運営面に反映させ改善を図るように努めている。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月に月次報告書で利用者さんの様子を報告している。特に変化を認めた場合は、電話、面談により報告させていただいている。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御意見箱や面談によって苦情や不満を聞き取り、運営面に反映させ改善を図るように努めている。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送り、月ごとのケア会議で報告、提案を受け取り運営面に反映させるよう努めている。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	通院介助、理容、買い物など個々の要望に応じて対応、職員の確保につとめている。		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>なるべく馴染みの関係が保てるように努力している。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での各種の勉強会をおこなっている。</p>		<p>外部での研修、講習に参加</p>
<p>20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>老人保健施設、ケアハウスなどとのネットワーク作り、交流を行いサービスの質の向上に努めている。</p>		
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>お茶会、食事会等で慰労を図っている。</p>		
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員が向上心をもって働けるよう個別に相談、資格取得の支援等に努めている。</p>		

項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>十分な面談を行い信頼関係を築くよう努力している。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>根気よく面談を行い信頼関係を築くよう努力している。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>根気よく面談を行い、各種のサービスについて説明するよう努力している。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心してホームに徐々に馴染めるように家族と相談しながら、日帰りでの試し利用を行うケースもあります。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の生活、レクレーションを通じて喜びや悲しみの感情を共有し共に支えあう関係を構築するよう努力している。</p>	

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>御家族の意見、状況をよく聞き取り、一緒に本人をサポートしていく関係を構築できるよう努力している。</p>		
<p>29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>本人と御家族の関係がより良好になるよう関わりを持っていくよう支援している。</p>		
<p>30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>友人や知人の方に積極的に訪問していただき、先方へも訪問、電話連絡などができるよう支援に努めている。</p>		
<p>31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>レクレーション、各種行事などを通じて利用者同士が支えあえる関係を築けるよう日々の生活の中で支援している。</p>		
<p>32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退去後も連絡を取って、直近の様子をうかがっている。</p>		

項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや希望を十分に聞き取り、状況の把握に努めている。		
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の思いや希望を十分に聞き取り、状況の把握に努めている。		
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人の思いや希望を十分に聞き取り、状況の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、御家族の意見、要望を考慮した介護計画の作成につとめている。		
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態に著明な変化が見られた場合は本人、ご家族と話し合い、介護計画の見直しを行っている。		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のケース記録や申し送りから情報を共有し、介護計画の見直しに活用している。</p>		
<p>3．多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
<p>39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>診療所を併設しており、医療に関して要望があれば24時間体制で対応させていただいています。</p>		
<p>4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</p>			
<p>40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>特に生活保護の入居者さんに関しては民生委員、市職員との連携を密に行い支援しています。</p>		
<p>41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>今のところ要望がないが、あれば考慮させていただきます。</p>		
<p>42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>今のところ要望がないが、あれば考慮させていただきます。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療法人が運営していますが、要望があれば他医療機関への紹介、病診連携の支援をさせていただきます。</p>		
<p>44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>専門医への紹介、精密検査等の支援をさせていただきます。</p>		
<p>45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>担当の看護職員と相談しながら健康管理に努めている。</p>		
<p>46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院医療機関と密に連絡を取り、早期退院に向け支援している。</p>		
<p>47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族、職員間で意見を交換し方針を共有している。現在、終末期の入居者さんが1人おられます。</p>		
<p>48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>主治医、職員間で意見を交換し方針を共有している。現在、終末期の入居者さんが1人おられます。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替えによるダメージを少しでも軽減できるよう努めている。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>尊厳、プライバシーの保持に努め、個人情報の取り扱いに慎重を期している。</p>		
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>能力に応じた言葉かけ、意志の決定を支援している。食事の献立やレクレーションの希望などの自己決定。</p>		
<p>52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>希望に応じた行事、レクレーション、献立などをできるだけ取り入れるよう努力している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理容、美容は今まで本人が通っておられた店へ極力、行けるように支援している。洋服等の買い物も一緒に出かけ、ご自身で選んでいただいています。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者さんと共に献立を決め買い物に行き、調理も共同で行っています。旬の食材を取り入れ季節行事や誕生会の料理を作っています。</p>		
<p>55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>おやつなどは個別の嗜好によって選択できるように工夫している。</p>		
<p>56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄記録を取り、排泄パターンを把握しトイレ誘導、気持ちの良い排泄の支援を行っている。</p>		
<p>57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴前にバイタルチェックを行い可否を判断している。時間は要望があれば、極力、対応している。個別入浴にして羞恥心等に配慮している。</p>		
<p>58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>寝具、衣類の調節を行い安眠できるよう支援している。体調によって十分な休息ができるように配慮している。</p>		
<p>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</p>			
<p>59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個別に役割をもっといただき生きがいのある生活の支援をしている。食器洗い、洗濯物たたみ、掃除、園芸等、その能力に合わせた役割をもっといただく。</p>		

	<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>能力や希望に応じた金銭管理の見守り、支援をしている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>日常的に散歩、買い物、日光浴などに外出できるよう支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>普段いけないお墓まいりなどに御家族と外出されています。</p>		
63	<p>電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>日常的に手紙や電話などを利用できるようにプライバシーに配慮しつつ支援している。手紙は一緒に投函し電話は子機を居室で使用していただいています。</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>時間制限を設けず、友人、知人が気軽に訪問できるよう配慮している。</p>		
<p>(4) 安心と安全を支える支援</p>				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員間で相互にチェックし、いかなる場合も身体拘束をしないよう心がけている。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は居室、玄関ともに鍵をかけないようにしている。</p>		
<p>67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>入居者さんの所在、状況を常に把握し、安全に配慮している。</p>		
<p>68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>刃物、洗剤、薬品等は必要時は職員と一緒に使用し安全に配慮している。</p>		
<p>69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを周知徹底し、事故防止に努めている。</p>		
<p>70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>マニュアルを作成し職員に対して応急手当や初期対応の説明を行っている。</p>		
<p>71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練を行い緊急時の対応に備えている。近隣の住民代表の方に緊急の場合の応援依頼をしている。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>毎月の月次報告書にて状況について報告し、特に変化が著明な場合は面談し説明させていただいている。</p>		
<p>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>			
<p>73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日、2回のバイタルチェック(体温、血圧、脈拍、パルスオキシ)を行い、体調によって随時、チェックし異変があればすみやかに管理者、主治医に報告している。</p>		
<p>74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員が二重チェックし確実に服用しているか確認している。服薬後の様子を十分に観察している。</p>		
<p>75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>水分補給と個別の食事内容を工夫している。朝夕のいきいき体操、嚥下体操を行い身体を動かすよう取り組んでいる。</p>		
<p>76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の口腔ケア(ブラッシング、うがい)、義歯の洗浄を行っている。</p>		
<p><u>77</u> 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分摂取量の記録シートを使用し個別の状況を把握している。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルを周知徹底し実行している。インフルエンザワクチンは毎年11月に入居者、職員全員に接種している。</p>		
<p>79 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>食中毒の予防のために手指、器具の消毒を厳重に行い衛生管理に努めている。新鮮で安全な食材の使用、管理に努めている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり</p>			
<p>80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>一般家庭と同じような玄関まわりであり季節の草花を配置し入居者さん、近隣の方にも親しみやすい工夫している。</p>		
<p>81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な飾りつけ、備品を配置し、落ち着いて過ごせるような雰囲気づくりに努めている。</p>		
<p>82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間にはソファやリクライニングチェアを置き自由に過ごせるよう配慮している。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	<p>今までに使い慣れた家具や装飾品を配置し居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
<p>84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている</p>	<p>朝夕に換気を行い、冷暖房の温度はこまめに調節し体調管理に努めている。</p>		
<p>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している</p>	<p>内部はバリアフリーの状態の手摺などで転倒し ないよう工夫している。</p>		
<p>86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している</p>	<p>居室には表札、のれんの目印をわかりやすく工夫 している。トイレ、浴室にもわかりやすい目印を 付けている。</p>		
<p>87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている</p>	<p>専用の花壇には四季の草花を植え、菜園には野菜 を栽培し収穫、草取りなどを共同で行っている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

クリニック併設のため、医療との連携は充実し、医師が日常的にホームを訪問することで、家族の方も安心しておられます。家庭的な環境の中で入居者本位の生活がゆったり、のんびりと過ごせるように努めています。